

ケーススタディ: 松阪CATV

日本のISPが100G DCIにRibbon Opticalを活用

業種: ケーブルテレビ/ブロードバンド ISP事業者

地域: 日本

ソリューション: Ribbon Apollo 9603/9901
を使用した100G DCI Apollo 9603/9901

【課題】

1990年に設立された松阪ケーブルテレビ株式会社 (MCTV)は、1991年以降、サービス提供エリア内の約70%の世帯にケーブルテレビおよびブロードバンドインターネットサービスを提供し続けている、長年のサービスプロバイダーです。高いケーブルテレビ普及率で知られる三重県は、2003年4月までに県内すべての市町でケーブルネットワークの整備を完了しました。さらに、ケーブル事業者間の相互接続ネットワークは、公共部門やその他の機関向けの通信を支えています。

1999年、MCTVは加入者の間でブロードバンドインターネットアクセスへの需要が高まっていることを認識しました。このニーズに対応するため、MCTVは加入者向けに高速ブロードバンドサービスを開始しました。この取り組みを通じて、松阪市は地域社会におけるデジタル・デバイドの解消に取り組み、加入者に信頼性が高く効率的なインターネット接続を提供することに尽力しています。

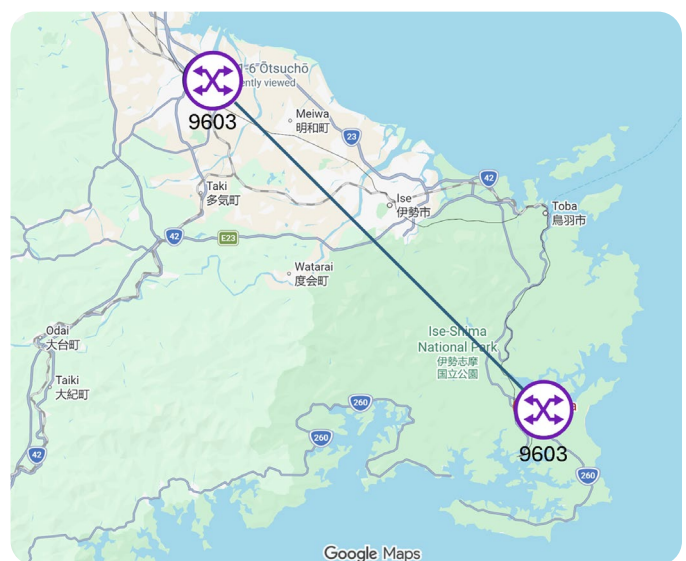
信頼性が高く拡張性のあるネットワーク機能を確認するため、MCTVはヘッドエンド拠点と地元の志摩サービスセンターを接続し、複数のGbEおよび10GEトラフィックを100Gの保護された双方向DCIリンクへ集約できる、拡張性の高いDCIソリューションを必要としていました。

【ソリューション】 Ribbon Communicationsの先進的な光プラットフォームを採用

松阪ケーブルテレビ (MCTV)は、信頼性と拡張性を兼ね備えた次世代ネットワーク基盤を構築するため、Ribbon Communications (リボン・コミュニケーションズ)のネットワークソリューションを採用しました。事前の厳格な検証を経て、1GbEおよび10GbEトラフィックを100GのDCI接続へと効率的に集約できる高性能プラットフォーム「Apollo 9603」および「Apollo 9901」を選定しました。

この先進的な光ネットワークプラットフォームの導入により、ヘッドエンドからアクセス層にいたるまで、高性能かつコスト効率に優れた堅牢なネットワークインフラが実現しました。結果として、通信のパフォーマンスや安定性を一切損なうことなく、拡大し続ける地域のブロードバンド需要を確実に支える体制が整いました。

なお、本プロジェクトの設計・構築・導入にあたっては、パートナーであるユニアデックス株式会社よりサポートを受けています。



ネットワーク構成

MCTVは、この拡張性の高い光アグリゲーションネットワークを活用して、サービス提供とネットワークの拡張性を向上させました。このネットワークは、高い拡張性を備えるように構築されており、現在必要とされている複数の1GbEおよび10GbEサービスに加え、将来登場する可能性のあるあらゆる高度なアプリケーションにも対応できます。この投資により、より優れた顧客体験を実現するとともに、MCTVが継続的な技術革新の進展に対応し続けることが可能になります。

【導入効果】

単一ファイバーでの100G化と、将来の400G/800G化への布石

1. **効率的な帯域活用:** 単一のファイバー上で、100Gの方向通信をコンパクトな設備構成で実現しました。

2. **ヘッドエンドの強化と拡張性:** ヘッドエンド拠点に「Apollo 9603」を採用したことで、低コストで高密度な光プラットフォームを実現しました。将来的な400や800Gへのアップグレードにも柔軟に対応可能です。
3. **迅速なプロジェクト完遂:** 機器の納入から設置、開にいたるまでのリードタイムを大幅に短縮。世界的なプライチェーンの制約下にあっても、遅滞なく迅速にネットワークを稼働させることができました。

Contact Us  Contact us to learn more about Ribbon solutions.